平成23年度 採択事業

ン・ファニチャーの製造販売ス・メッシュ加工による高感度

岩城製作所 岩城製作所

株式会社

幸一さん



奥山 幸一さん

ステンレス加工の高い技術力でオリジナルプロダクトを

株式会社岩城製作所は、ステンレス製品の専業メーカーとして創業 50 数年にわたってステンレス素材を取り扱ってきました。そこから生まれた「azuby」は、ステンレス板を編む技術を活かした、質の高いオリジナルプロダクトを設計から製作までトータルで行っているデザイン・技術者集団のブランドです。

azubyでは、岩城製作所のある山城地域(京都府綴喜郡)に古くから伝わる"あじろ織り"と、半世紀にわたり蓄積されたアルゴン溶接や曲げ技術、研磨技術といったステンレス加工技術が「融合」することで、これまでにないデザイン性を誇る「Only One」のプロダクト製品を創っています。「azuby の特徴である網目(メッシュ)加工は、熟練した職人の手作業での加工によるところが多く、表面からは見えない溶接加工は経験と実績からもたらされる高い技術力の証でもあります」と、azubyの代表を務める奥山幸一さんは語ります。



自社ブランド「azuby」の開発へ

奥山さんは、元々飲食店や物販店などのショップ作りが専門でしたが、その後、婦人服ファッション、建築ハウスなどの企業で企画や経営部門に参画してきました。 平成3(1991)年に岩城製作所へ入社し、現在は同社小売事業部初の自社ブランド「azuby」で、製造及び販売、 広報などの責任者として活躍しています。「我々は小規模ではありますが、機能性だけではなくデザイン性を加味した独創的なものづくりや開発力に対して、取引先からの相談や問い合わせが多くあります」と語ります。

「作業から出る端材を見ていて、何か利用できないかと考えたのが始まりです。今の時代(エコ、リサイクル)にも合っていますし、また、受注仕事だけではなく自社製品を作って活路を見出すことに魅力を感じていました」。

苦労した点については、「網目加工といっても、素材が金属だから柔軟性がなく編みにくい訳です。きれいに編んでフラットにすることが大変でした。そのため、型を作るのに5~6年はかかりました」と当時を振り返ります。

従来のステンレス素材の概念を打ち破り、手編みによるメッシュ素材作りに成功したことで、弾力性がありインパクトのあるデザインテイストをメインコンセプトに、近未来の居住空間にマッチするコンシューマタイプ及びプロトタイプの製品を提案していきたいそうです。「仕上がりの精度や美しさといった面で、当社が蓄積した多くの実績やノウハウがものづくりへと活かされています」。



ハードタイプの [azuby]、ソフトタイプ の [mix] でブランド展開

ブランド展開として、ハードタイプの [azuby] は、ステンレスメッシュの重い・厚い素材を用いた商品で、クールなデザインが際立つテーブル、椅子、ソファー、コンソール等の家具類を中心に展開しています。また、ソフトタイプの [mix] は、ステンレスメッシュの軽い・薄い素材を用いた商品で、柔らかいデザインを感じさせるインテリア小物、雑貨類を中心に展開しています。

アイテムは現在約 50 点あり、ステンレスはカラーリ

ングも可能ということです。メッシュ編みだけでなく、 木、皮、ファブリックなど異素材と組み合わせた商品も 今後は展開していく予定です。

常に世界に向けた視点を

平成 23(2011)年 4 月、イタリア・ミラノで開催される国際的なデザインの祭典「ミラノサローネ」に出展。ファッション感度の高いイタリア・ミラノでも高い評価を得ました。国内では大手百貨店とタイアップして東京をメインに商品の展示会を行っています。現在は市場の反応を見ている状況で、各種展示会にも出展してマーケティングを続けているそうです。

「今はまだ手探りの状態ですから、多くの方に商品を知ってもらうことが必要だと思います。これからも、フランスのメゾンオブジェ、ドイツのフランクフルト、イタリアのミラノサローネといった世界的に有名な展示会に出展して市場の反応を見ていきたいですね」。そう語る奥山さんの視点は、常に世界を向いています。



事 業 概 要

株式会社岩城製作所

http://www.azuby-japan.com/

代表:岩城 義和

業種:ステンレス加工

創業:昭和36 (1961) 年 設立:昭和51 (1976) 年

住所: 〒610-0301 綴喜郡井手町多賀新造27

TEL: 0774-82-2933 FAX: 0774-82-4862

34

35